

## 新編 3. コロンビア通信 Update

2025年2月

### ベネズエラのその後とロシアとの関係を追跡そしてトランプとはどうなる：

➤ Reuters 2025年1月11日

ベネズエラのマドゥロ大統領3期目就任、米欧は制裁発表 G7も非難

[ワシントン/オタワ 10日 ロイター] - 南米ベネズエラで10日、昨年7月の大統領選で勝利を宣言したマドゥロ大統領が3期目の就任を宣誓した。国際社会はマドゥロ氏の勝利を認めておらず、国内では選挙結果を巡る対立が継続。米欧がマドゥロ政権への制裁を発表する中での就任となった。

マドゥロ氏は2013年に大統領に就任。ベネズエラの選挙当局と最高裁判所は昨年7月の大統領選で同氏の勝利を宣言したが、これを確認する詳細な集計結果は公表されていない。



マドゥロ氏の3期目就任宣誓に当たり、米国は制裁措置を発表。ベネズエラ当局者8人に新たな制裁を課したほか、マドゥロ氏の逮捕につながる情報の提供者に支払う懸賞金を2500万ドルに引き上げた。

米国のブリンケン国務長官は「米国はニコラス・マドゥロ氏をベネズエラの大統領として認めない」と改めて述べた。

米国と協調し、英国と欧州連合（EU）もベネズエラ当局者15人を対象に制裁措置を導入。カナダもベネズエラに対する新たな制裁を課した。

米財務省のブラッドリー・スミス次官代理（テロ対策・金融情報担当）は「米国は志を同じくするパートナーと共に、新しいリーダーを求めるベネズエラ国民に連帯し、マドゥロ氏の不正な勝利宣言を拒否する」と述べた。

主要7カ国（G7）外相もマドゥロ氏の3期目就任について、民主的正当性が欠如していると非難。今年のG7議長国を務めるカナダが発表した声明によると「マドゥロ氏がベネズエラ国民を犠牲にして、継続的、かつ抑圧的に権力を掌握し続けていることを拒否する」と表明した。

➤ 産経新聞 2024/7/29

ロシア、ベネズエラ大統領選で勝利発表のマドゥロ氏に祝電 協力関係を継続

ロシアのプーチン大統領は29日、ベネズエラ大統領選で現職のマドゥロ大統領が勝利したと選挙管理当局が発表したことを受け、祝電を送った。今後も建設的な協力関係を継続していく用意があるとし「あなたは常にロシアで待望される客人だ」と表明した。ロシア大統領府が発表した。

ロシアはウクライナ侵攻などで米欧との対立を深める中、マドゥロ政権とは反米の立場で一致。今年3月の大統領選でプーチン氏が通算5選を果たした際には、欧米から非民主的な選挙だったとの批判が上がる中で、マドゥロ氏は祝意を示していた。(共同)

<https://www.sankei.com/article/20240729-GHLVL3GJ7JNCTIGHLK37WWDLI4/>

### ➤ JETRO ビジネス短信 ボゴタ発 2022年02月28日

#### 友好国のベネズエラ、ロシア支持を一貫して表明

ロシア軍のウクライナに対する軍事行動を受け、ベネズエラのニコラス・マドゥーロ大統領は2月24日、公式ツイッターに「ベネズエラは、ウクライナにおける危機の激化に懸念を表明し、欺瞞(ぎまん)と、米国の率いる NATO によるミンスク合意違反を遺憾とする。関係国間での現実的な対話を求める」とする声明を掲載した。

マドゥーロ大統領は2月22日、出演したテレビ番組で「ロシアと当該地域の平和保持のため、ベネズエラはウラジーミル・プーチン大統領を全面的に支持する」と発言するなど、ロシア支持を一貫して明確にしている。

ベネズエラにとりロシアは、軍事のほか原油輸出や国内製油所の再建、さらには保健・衛生、食糧分野など幅広い協力関係を持つ友好国。ベネズエラは、米国の経済制裁により最も重要な外貨獲得手段である原油輸出が自由に行えないが、これまでイランやロシアの企業を介した複雑なオペレーションを通じ、生産した原油のアジア向け輸出とその代金回収を実現している。

予想される原油価格のさらなる上昇は、同国にとり有利とみられる一方で、今後の米国や欧州各国による対ロシア制裁により、ロシアによるベネズエラへの支援活動全体が減退するほか、ベネズエラがこれまでに確立した原油輸出に関する各種の取引がより複雑化することが懸念される。

(マガリ・ヨネクラ、豊田哲也)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2022/02/41d8f048b2276f6f.html>

### ➤ 読売新聞 2022/03/02

「反米左派」ベネズエラ、マドゥロ大統領が2022/03/02プーチン氏に「強い支持」伝える【リオデジャネイロ＝淵上隆悠】南米ベネズエラのニコラス・マドゥーロ大統領は1日、ロシアのプーチン大統領と電話で会談し、ウクライナ侵攻への「強い支持」を表明した。

在ベネズエラ露大使館の発表によると、プーチン氏は、侵攻の目的について、ウクライナの非武装化と中立化を図り、2014年に併合したウクライナ南部クリミアにおけるロシ

アの主権をウクライナに承認させることだ、などと説明した。

マドゥロ氏は北大西洋条約機構（NATO）の東方拡大を非難した。

反米左派政権が20年以上続くベネズエラは、ロシアとの協力を深めてきた。

#### ➤ Wikipedia ニコラス・マドゥロ

##### 中国との関係

マドゥロ政権に敵対的な米州諸国の集まるリマ・グループ（英語版）は2019年4月にマドゥロ政権を支援しているとして中国とロシアなどを名指しで批判していたが、同年5月には共同声明から中国のみ名前が外されたことが注目された。

しかし、中国はグアイドの代理人の出席を拒否して成都で開催されるはずだった米州開発銀行の年次総会も中止になるなど表向きはマドゥロ政権の正統性をあくまで支持している。  
**カラカスには中国とイランとロシアの航空機が留まっており**、ロシアとともにベネズエラに120人規模の軍事顧問団を派遣したと報じられた際は中国の報道官はあくまで人道物資の支援であると否定している。これは中国にとってベネズエラは南米への影響力を保つうえで重要な拠点となっており、長年の強固な信頼関係を保っているだけに、混乱した状態であってもマドゥロ体制を維持したい意向が働いていると見られる。

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%8B%E3%82%B3%E3%83%A9%E3%82%B9%E3%83%BB%E3%83%9E%E3%83%89%E3%82%A5%E3%83%AD>

#### ➤ Wikipedia Russia–Venezuela relations

[https://en.wikipedia.org/wiki/Russia%E2%80%93Venezuela\\_relations#:~:text=Russia%E2%80%93Venezuela\\_relations\\_include\\_cooperation,military\\_ally\\_in\\_Latin\\_America.](https://en.wikipedia.org/wiki/Russia%E2%80%93Venezuela_relations#:~:text=Russia%E2%80%93Venezuela_relations_include_cooperation,military_ally_in_Latin_America.)

#### ➤ MAILONLINE By GEORGE MARTIN 17 December 2018

ロシアは、1962年のキューバ・ミサイル危機以来、カリブ海地域における同国最大のプレゼンスであるカリブ海初の軍事基地を設置する計画を発表

<https://www.dailymail.co.uk/news/article-6504447/Russia-announces-plans-set-military-base-Caribbean.html>

#### **ベネズエラ 不法移民問題；**

##### ➤ 毎日新聞 2025/2/4 12:02

トランプ政権、ベネズエラ避難民の保護取り消し 第1弾で30万人超

クリスティ・ノーム米国土安全保障長官は3日、ベネズエラから米国に避難している数十万人に対して与えている一時保護資格（TPS）を取り消す通知書を出した。連邦官報に5日に掲載される予定で、掲載から60日後に発効する。第1弾として30万人超の避難民らが4月上旬に資格を失う見通しで、強制送還される可能性がある。

TPS は、内戦や自然災害、伝染病などに見舞われた国から避難してきた人に、一時的な滞在と就労を認める制度。対象国は現在、ベネズエラやハイチ、ニカラグアなど 17 カ国に上る。避難民はこの制度によって危険な国への強制送還を免れることができる。ただし、永続的な法的地位は与えられない。

➤ **EL UNIVERSAL** Moisés Naím 2/10/2025

[トランプ 2.0 はベネズエラにとって何を意味するのか? |エル・ユニバーサル](#)

ベネズエラの未来は、アメリカの政治指導者と、ワシントンで活動するロビイストによって決定されるだろう。ドナルド・トランプは、ベネズエラに関する政策をまだ定式化していないが、多くの重要なアメリカの利益が危機に瀕しているため、彼は自分の目標を明確にすることを余儀なくされるだろう。ベネズエラの莫大な石油埋蔵量、麻薬密売と組織犯罪の加速的な増加、民主主義と人権に対する残忍な攻撃(その結果、米国の厳しい制裁がもたらされた)、何百万人ものベネズエラ人の歴史的な脱出。そして、この地域における中国の影響力の増大は、トランプ氏と彼のチームが直面している課題の一部です。

<https://www.eluniversal.com.mx/opinion/mois-es-naim/que-significara-trump-20-para-venezuela/>

了